

## 事業所における 自己評価結果（公表）

公表：令和 5年 12月 1日

事業所名 コペルプラス港南台 教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5		・机のあるスペースと運動のできるスペースに分けています。	
	②	職員の配置数は適切である	5		・児発管含めた三人以上の職員を常に置いています。	・人員が少なくなった場合は、近隣教室にヘルプを依頼し人員の補充をしています。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	5		・運動スペースの床に柔らかいマットを設置しております。 ・室内の掲示の範囲を絞ることで、活動の際に集中しやすい環境設定をしております。	・トイレのドアの開閉部にカバーを設置いたしました。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	5		・換気、消毒を常に意識しております。 ・毎日掃除をしています。	
業務 改善	⑤	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	5		・職員全員での話し合いの場を設け、報告しています。 ・記録を取り、当日不在の職員も会議内容を把握できるようにしています。	

	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>・記録表をチェックし、保護者との会話をするように意識しております。</li> <li>・フィードバック時に、必ず保護者に対してご意見がないか声を掛けています。また、そこで出た意見は教室内で共有しています。</li> </ul>	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎年一度実施し、コペルプラス港南台教室のHPに掲載をしております。（本評価結果）</li> </ul>	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	3		・第三者評価なし
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>・月に一度事業所内で研修を行っているほか、会社で行うオンライン・オフラインの研修にも積極的に参加しております。</li> </ul>	
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	5			
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5			
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	5			

⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	5		・全職員が閲覧できる場所に支援計画を入れ、計画に沿った支援が行いやすいようにしております。	
⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	5		・職員間での話し合いを意識し、支援内容や活動プログラム内容の精査を行っております。	
⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5		・月毎に教材、プログラムの入れ替えを行っております。 ・児童のニーズに合わせて個別課題を入れております。 ・季節の製作など、様々な経験の場を設けています。	
⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成している	5		・集中して個別活動が行えるようにしています。	
⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5		・毎朝ミーティングの時間を必ず取るようにしています。 ・お子様の個別での支援の必要性など共有しております。	
⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	1	・当日中には実施していませんが、翌日以降のカンファレンス等で振り返りを行っております。緊急	

					<p>の場合は当日に共有を行っています。</p> <p>・必要に応じて時間を取り、報告・共有をしています。</p>	
	⑱	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5		<p>・レッスン毎にサービス提供記録を必ず作成・保管しています。</p> <p>・サービス提供記録に一人一人の活動記録、ケア記録を残しており、支援の反省点を明確にしています。</p>	
	⑳	定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	5			
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4	1		
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	4	1	<p>・港南区役所の実施する、児発・放デイ報告会に児発管が毎回参加しております。</p>	<p>・児発管のみでなく、指導員も出席できるように予定の調整等を行っています。</p>
	㉓	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	2	3	<p>・いらっしゃらないため実施しておりません。</p>	
	㉔	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	2	3	<p>・いらっしゃらないため実施しておりません。</p>	
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	2	3		

連携	②⑥	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	1	4		
	②⑦	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5			
	②⑧	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	1	4		・現時点では行っておりません。

	②⑨	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	3	2	・令和5年1月以降から、港南区の児発・放デイ連絡会に児発管が毎回出席しております。	・児発管のみでなく、指導員も出席できるように予定の調整等や会議の周知を行っていきます。
	③⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5		・フィードバック時に保護者の方から状況を聞き、職員間で共有するようにしています。	
	③⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	1	4	・ペアレントトレーニングを行っていると感じている。	・ペアレントトレーニング研修に全職員で参加し、ペアレントトレーニングが実施できる体制を整えていきます。
保護者への説明責任等	③⑫	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5		・契約時に行っております。	
	③⑬	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	5		・個別支援計画の作成時には必ずご説明をし、同意をいただいております。	
	③⑭	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5		・相談内容についてその場でのお返事が難しい際は、一度持ち帰り職員間で相談してからお答えするようにしています。	

	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		5	・現在は実施しておりません。	・集団でのペアレントトレーニングを通して、保護者様同士の横のつながりを作れるようにしていきます。
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している		5	・迅速な対応を心掛けております。	
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4	1	・LINE、インスタグラムなどの SNS を用いて定期的な発信を行っております。	・会報の発行については検討を行います。
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している		5	・個人情報は鍵付きのキャビネットで保管し取り扱っています。 ・個人情報保護に関する研修を行っています。	
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている		5		
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている			5	・地域の方のご招待は現時点では行っておりません。
非常時等の対応	④⑪	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	4	1		
	④⑫	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている		5		・年に二度行っております。
	④⑬	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	3	2		
	④⑭	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		1	4	・食事提供はしていません。 ・食事提供はしていませんが、初回アセスメント時にア

				アレルギーの有無や種類の把握を行っております。	
④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5			
④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5		・虐待防止に関する研修を行っております。	
④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	5		・契約の際に、誓約書を読んでもらって同意をいただいております。	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。